



長野



I O N

会員数	334-E 地区	2,590 名 (10月末現在)
	長野 LC	124 名 (11月末現在) (家族会員 54 名含む)

No.613

発行日 2018.12.1 334-E 地区
長野ライオンズクラブ
広報委員会発行

334複合地区
スローガン
(2018~2019)

「We Serve」 前向き思考で真の奉仕と大きな感動



第44回

長野ライオンズクラブ 旗争奪信越選抜少年硬式野球大会

2018.11.3~4
於：県営球場等

天候にも恵まれ、11月3日(土)・4日(日)の2日間にわたり、標記大会が開催されました。会場準備は長野市少年硬式野球連盟の関係者の皆様を中心となり設営され、多くのライオンにも早朝よりお手伝いいただき改めて感謝申し上げます。この大会はこの様な多くの方々の力があり開催されているのだと身をもって感じる事が出来ました。

開会式では先導を担当いただいたガールスカウトの皆様、その後が続く若穂幼稚園の鼓笛隊の皆様、そして観客席で声援を上げる選手のご家族の皆様など、盛り上がった雰囲気始まり、名誉大会長の佐藤長野LC会長の挨拶、連盟理事長の塩入様の挨拶、そして選手宣誓とセレモニーは続きました。メイン会場の長野県営球場では、佐藤長野LC会長の始球式がありプレイボール。各チームもそれぞれのグラウンドに分かれ熱戦が始まりました。

選手諸君の全力で白熱したプレーは、かの有名な「栄冠は君の輝く」の歌詞の通り、アマチュア野球精神そのもので感動すら覚えました。

…… 風を打ち 大地を蹴りて

悔ゆるなき 白熱の力ぞ技ぞ ……

各部の結果は下記の通りです。

シニア (中学部)	🏆優勝/長野東 準優勝/上田 第3位/長野南
リトル (小5~中1)	🏆優勝/松本南 準優勝/上田南 第3位/波田
マイナー (小3~小5)	🏆優勝/松本南 準優勝/上田南 第3位/波田

今回は市民委員長として準備の段階から携わることが出来、大変に良い経験をさせていただきました。改めまして皆様のご協力に感謝申し上げます。(市民委員長 L.菅沼 郁男)

第23回 環境子どもサミットに参加して

2018.10.28
長野市
リサイクルプラザ



「命のつながり・支え合う自然・見つめよう生き物たちの世界」を環境宣言に、環境子どもサミットが10月28日(日)、10時～14時、長野市リサイクルプラザで開催されました。主催は国際ソロプチミスト長野、長野県環境保全協会北信支部、ながの環境パートナーシップ会議、長野市教育委員会、長野ライオンズクラブ、また、環境庁をはじめ、18社の団体から後援をいただきました。

事前に環境標語を募り、(小学校)42校2,567人2,682作品、(中学校)13校1,021人1,060作品と大変多くの応募をいただき、主催者全員で厳選に審査し、①最優秀賞1、②優秀賞2、③佳作3、特別賞2を選考しました。

環境学習発表には湯谷小学校、長沼小学校、篠ノ井東小学校、広徳中学校の皆さんが、様々な角度から環境について発表をしてもらいました。講師としての長野県環境保全研究所、日本野鳥の会、浅川地区住民自治協議会の各団体からも、素晴らしい講演をしていただきました。

体験ブースは8ブースと充実し、当クラブも2回目のブース参加となりました。

当クラブでは、環境に優しい絵の具を使い、手形アートを開催しました。L.麻場の娘さんに手形アート講師をして頂き、子供たちの手形を絵の具で色紙に付け、手形の回りに様々なアートを施していくブースです。子供たちの手が絵の具で汚れる為、参加したその他のライオンも手を洗うバケツを準備して、汚れた水を捨て、ドライヤーで絵の具を乾かしたり、また長野市長も手形アート体験され、皆さんにエールを送って頂きました。

来客総数300人。当ブース体験者70名と大盛況でした。フードドライブも同時開催され、家庭で眠っている食品が多く寄付されました。

年々内容も充実していく環境子どもサミット。長野市では50回を目指したいそうです。今後も皆様のご協力を宜しくお願い致します。

(環境保全社会保健委員長 L.金城 京美)

10月の献血実績 三献推進委員会

於：信州医療福祉専門学校（10月10日）

400mL	200mL	合計	血液量
12人	0人	12人	4,800mL

於：(株)みずずコーポレーション（10月10日）

400mL	200mL	合計	血液量
17人	0人	17人	6,800mL

於：中部電力(株)長野支店（10月19日）

400mL	200mL	合計	血液量
50人	0人	50人	20,000mL

於：(株)八十二銀行本店（10月23日）

400mL	200mL	合計	血液量
66人	0人	66人	26,400mL

冒頭佐藤会長より、会員増強の必要性とその旨の説明があり、会員一人ひとりの更なる協力を求めた。そして、10月27・28日に行なわれた「第23回長野市環境こどもサミット」において、多数の会員に協力を頂き、予想以上の盛上がりで成果がみられ、長野市からもお礼の言葉があったことが伝えられました。また、直近の事業の「第44回長野ライオンズクラブ旗争奪信越選抜少年硬式野球大会」にも、更なる会員参加協力を訴えました。続いてLCIF会長の伝文が披露され、当クラブとしての意思の確認がなされました。

次に「誕生日祝い」11月生まれの出席ライオンの紹介です。L. 今澤義隆、L. 田中秀一、L. 福島一明の三名による地鳴りのような雄叫びローアを頂きました。

委員会報告は以下の通りです。

- (1) 事業委員長 L. 麻場貴子より「第23回長野市環境こどもサミット」報告と御礼
- (2) 事業委員長 L. 麻場貴子より「第44回長野ライオンズクラブ旗争奪信越選抜少年公式野球大会」開閉会式11月3日、4日の確認と参加要請
- (3) 会員増強FWT委員 L. 福島一明より「入会候補者情報ワークシート」活用協力要請
- (4) 計画・出席委員会委員長 L. 高木真より例会出席率66名中35名(出席率53%)無断欠席者ゼロ達成の報告

続いて、テールツイスターL. 北澤哲也による秋季親睦ゴルフ大会の優勝者L. 宮澤度の大枚のドネーション要請と、時節柄、七五三の由来など楽しい漫談(笑)披露を頂き、会場を和ませてくれました。

幹事報告の後に会員スピーチがありました。

新入会員L. 田中秀一による海外あるあるをお聴きました。日本の常識は非常識。

同じく新入会員L. 奥山嘉登による山の魅力。名前の通り奥山の登山がご趣味のようです。



(広報委員 L. 宮澤 度)

佐藤会長の挨拶に先立ち、本日のゲストスピーカー、倫理法人会法人スーパーバイザー中村八恵子様のご紹介がありました。会長挨拶は、クラブの運営について、スローガンの中にある「新たな一歩」を踏み出したいというお話で始まりました。現在、クラブの平均年齢は約49歳、幅広い年齢層で構成されていることを踏まえ、クラブ運営も例会も時代にマッチしたものにしていきたいと。例会も、厳格な式次第に従い礼儀を重んじるのか、カジュアルなものとするのか、それをミックスしたスタイルにするのか、みんなで議論して、より良いものにしていきたいとお話でした。

続く委員会報告は、市民委員長L. 菅沼郁男から、先日行われた長野LC旗争奪信越選抜少年硬式野球大会の結果報告がありました。開閉会式に参加された皆様、お疲れ様でした。続いて、事業委員長L. 麻場貴子から、クリスマスアクティビティへの参加依頼がありました。12月21日は児童発達支援センターにじいろライフキッズらいふ、12月22日は篠ノ井愛の樹園です。皆様のご参加をお願い致します。次に、会員厚生委員会L. 小林正直から、クリスマス家族会の案内がありました。12月20日メルパルク長野で行われます。ご家族での参加をお待ちしております。

そしてテールツイスターの登場とともに幹事報告が行われ、1月15日開催予定の2R新年合同例会のご案内と、長野松代ライオンズクラブのシクラメンチャリティーセールへの協力依頼がありました。

ゲストスピーチは、先述の中村八恵子様から「運命を開く生き方」と題してお話いただきました。今この時を大切にする、モノにも愛情を持って接することなどを、自らの体験をもとに、ユーモアを交えて熱く語っていただきました。何より明るくパワフルなお人柄から元気を頂戴しました。



例会出席率66中30名(出席率45%)

(広報委員 L. 神津 富治男)

平成の30年は充実していた

L. 原田 美登

今年は何かにつけて「平成最後の〇〇」と称される。それに倣うなら、今年の誕生日は誰もが平成最後となる。(最後と言いつけるのは尋常ではないのだが)そこで、自分なりに平成はどんな時代であったのか振り返ってみた。

前半は、昭和から議論の続いていた業界再編成の懸案事項を実現するため、歴史の転換となる歯車を回すのに、微力ながら関わり、その揺籃期を見届ける時期であった。

中頃には、関係した業界を退き、新たな境地を求めて、ライオンズクラブを始めとするボランティア中心の生活となった。

最近、「雀百まで踊り忘れず」では無いが、世話になった業界のある県町界隈を徘徊している日々でもある。

総じて、平成30年は充実した時であった。次はどんな世が待っているのだろう。

誕生日を迎えて

L. 西條 賢治

世阿弥の『風姿花伝』に『時分の花をまことの花と知る心が、真実の花になお遠ざかる心なり』、時分の花とは若い時の花、まことの花とは修練、修養によって得られた花のことであり、若い時には若さならではの花がある。だがそれを自分の実力とってしまうと、永遠に真実の花はつかめない、という。また世阿弥は『往するところなきをまず花と知るべし』『往するところなき』は、現状に甘んじない。現状に止まらない、ということ。いまの状態に安心してしまわないで学び続けることこそ花だ、という。

人間『生涯現役、臨終定年』とは、禅の高僧、松原泰道師の座右銘である。また『一生、自己丹誠』一生涯自分という人間をまごころを込めて仕上げていく、ということを松原泰道師は教えているが、私も斯くの如くありたいと思う。

古希を迎えて

L. 竹内 正

9月の例会でL. 立岩が今年71歳になります、と言っているのを聞いて1年先輩だなといつも思っていました。昨年の誕生日では70歳と言っておりましたから追いかけること、一年遅れで今古希を迎えます。順調にいけば、来年71歳になります。

今まで年取ったと感ずることはなかったのですが、今年あまり身体の準備をしないで、千曲川源流

から甲武信ヶ岳に行きました、帰り道になって両膝がだんだん痛くなり、少しの上り坂があると少し休まないと前に進めなくなり、年だなと感じるようになりがっかりし、齡は取りたくないと思います。

少し前まで「肉や油は控えめに」と言われていたのに、近ごろは「肉を食べましょう」「油は大事」と言われるようになってきた。健康情報はコロコロ変わる。これからも働き過ぎない。食べ過ぎない。飲み過ぎない。細かいことを気にしないなど、ストレスをためないようにしていきたいと思うこの頃です。

—— 11月定例理事会 報告 ——

2018.11.8 於：ホテルメルパルク長野

議事

1. L. 横沢吉彦特別会員について
本年度は特別会員扱いとする
2. クリスマス家族会について
こども 1,000円 (小学生以上) を徴収
3. 第44回日本・フィリピン合同医療奉仕活動支援物資について
執行部より再度拠出依頼をする
(現在 タオル拠出8名・1000円拠出13名)
4. その他
家族会員の掲載について
会員名簿に家族会員人数のみを掲載
—— 以上承認 ——

報告事項

1. LCIF1000\$寄付のお願い
(文責 L. 徳嵩 ことい)

これからの予定

- | | |
|--|--------------|
| 12/ 6(木)12:30 ~ 第1例会 | 於：ホテル国際21 |
| 12/13(木)12:30 ~ 定例理事会 | 於：メルパルク長野 |
| 12/20(木)18:00 ~ クリスマス例会 | 於：〃 |
| 12/21(金)10:00 ~ にじいろキッズらいふクリスマスアクティビティ | 於：にじいろキッズらいふ |
| 12/22(土) 9:30 ~ 篠ノ井愛の樹園クリスマスアクティビティ | 於：川柳公民館 |
| 12/26(水)16:00 ~ 広報委員会 | 於：事務局 |
| 12/27(木)18:00 ~ メーク・アップ | 於：ホテル国際21ロビー |

長野 L I O N No.613

長野市南県町685-2 長野県食糧会館4F
長野ライオンズクラブ発行
TEL (026) 235-3883
FAX (026) 234-4397
会報編集者 L. 清水 威彦